

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第1回加東市立図書館協議会（書面開催）
開催日時	令和3年9月5日（日）締切
開催場所	書面会議
◇協議事項	
1. 統計書『くらしの中に図書館を』に関わること	
2. 図書館のコロナ対策について	
3. 各図書館の活動について	
4. その他について	
◇協議の概要	
1. 統計書『くらしの中に図書館を』に関わること	
委員	図書館としては改良・改善されているが、他種交流など横のつながりが文化発展に必ず必要だと思うので、産業界やスポーツ界と関わる機会を作っていきたい。
委員	コロナの影響がはっきり読みとれます。せつかくの施設が活用されにくくなり残念です。図書館を利用する子どもたちも残念に思っていることでしょう。学習室がいっぱいになる日が早くきますように。
委員	新聞・雑誌等様々な分野のものを置いておられるので、選書の参考にさせていただきます。
委員	コロナ禍でしかたないのか、貸出密度が年々下がっているのが気になる。自習コーナーでは中高生が利用すると思うが、進路の参考になるような本や仕事のスキルになる本があるよという「図書館だより」のようなものがあると手にとって本棚を見てくれるかも。
事務局	ご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。
委員	緊急事態宣言の中、夏休みもあって本の貸出しは増えたのでは？広報に図書館のQRコードがあったのは利用が増えるきっかけになると思いました。オンライン検索で蔵書がわかると利用する機会も増えると思います。会社でもすすめています。
委員	コロナのなかでも、図書館を利用される方が一定以上おられると思いました。
委員	「人生100歳時代」です。100歳の自立目指して種をまきたいと考えています。年齢別・個人利用者数の割合（％）で60歳以上が35.8％です。高齢者にとっては図書館が重要な役割を果たしている証しです。レファレンス（調査相談）は利用者にとって必要な情報・資料を入手する上で、ありがたい活動です。おでかけ図書館（図書館見学・体験）おはなし会・読み聞かせ等々は「種まき」です。「くらしの中に図書館を」定着させる大切な活動だと思います。
委員	自然科学の本の貸出冊数が多いのですが、どのようなジャンルのものが、よく貸出しされているのかと思いました。学校の方でも、科学本へ興味を広げるとりくみもあり内容やシチュエーションが気になりました。

事務局	<p>自然科学のジャンルについては、一般書（大人向け）では健康や医学の本の貸出しが多いこと、また、児童書では『サバイバル』シリーズや『どっちが強い』シリーズなどの人気が高いことが影響していると考えられます。複本を用意しても常に貸出中になっていることが多いです。子どもたちの興味を自然科学分野に向けさせた本の力の大きさを感じます。</p> <p>また、他の館では、児童書の天気や地震、恐竜など地球に関する分野や、動物に関する分野がよく借りられています。</p>
<h2>2. 図書館のコロナ対策について</h2>	
委員	<p>全国並みなスペース確保やアクリル板設置など、対策を取られているなど思った。個人的には、手に取る事も学習だと感じているので、本を手にとって学習機会を増やしたい思いとコロナ対策は、ただただハードルに感じてしまう。感染対策専門家と討論してでも、学習機会は最大数を確保したい。</p>
会長	<p>感染対策は、工夫に工夫を重ねられていると思います。大変ですがよろしくお願ひします。貸出冊数と貸出期間は、どのようにして決定されていますか？（例 30冊の場合・・・3週間、4週間、2週間）</p>
事務局	<p>貸出冊数、貸出期間については、新型コロナウイルス対策について確実な情報が無い当初から、図書館内でも議論を重ねてきた部分であり、確定しないことで利用者の皆様にはご迷惑をおかけしました。外出を控えていただくためには長期間貸出が有効かもしれないと考えたり、感染者が落ち着いたから通常の10冊2週間に戻った期間もありました。試行錯誤の後、4週間では予約本が回らず、また、3週間ではウェブ上の延長処理が難しいことから、現在の30冊2週間が定着しつつあります。</p>
委員	<p>公共の施設として、感染症対策には特に苦慮しておられることと思います。学校図書館でも、椅子や机の配置の工夫や入口への手指消毒の設置、日々の館内の消毒等に取り組んでいます。</p>
委員	<p>コロナ感染対策に細い対策がされていると思います。 電子図書館サービスの導入を検討して欲しい。 外出困難者の為に、デリバリーシステムを考えて欲しい。（障害者・高齢者・育児中の人、e t c）</p>
事務局	<p>電子書籍の導入については、館内で議論を重ねていますが、図書館向けの電子書籍のタイトルがあまり充実していないこと、また、先進館の貸出状況を検討した結果、導入を踏みとどまっている状況です。 図書館への来館が困難な人に対するサービスについては、教育振興基本計画に従い、現在計画中です。令和5年度からの実施を目指しています。</p>
委員	<p>資料やバッグの消毒をしていること等を、利用者に知らせる案内があると安心できると思う。</p>
事務局	<p>資料の消毒については、ご自身で図書除菌機を使って消毒をしていただいております。図書館だより等でも図書除菌機について何度かご紹介をさせていただいておりますが、今後も引き続きアピールしていきたいと思ひます。</p>
委員	<p>コロナ対策は、マスクと消毒しかないですね。しかし、本の消毒はちょっと不安に感じることはあります。</p>
事務局	<p>各館に設置しています図書除菌機をお使いください。</p>

委員	よくされていると思います。これ以上は難しいのでは？
委員	適切な対応策が採られています。貸出冊数・貸出期間の臨機応変な処置「特別貸出」良策です。緊急事態宣言①、②、③、④に対しての対応措置的確に実施されています。利用者が安心して図書館を利用できる安全対策です。
委員	制限された条件の中で、さまざまな対策をしながら図書館利用を、すすめておられることがよいと思います。（図書除菌機は、来館された方が利用されるように設置されているのでしょうか。）
事務局	図書除菌機は利用者の方が自由に使っていただけます。
3. 各図書館の活動について	
委員	子どもや親子に向けた活動が多く親近感が持てる。学校の授業にも〈図書館〉の枠が、〈IT〉〈プログラミング〉と同等かそれ以上の比重で取り組んでほしい。
委員	協議会の意見を取り入れ尽力されていること感謝します。お話会の参加がもっとあるとうれしいですね。地域のお話会は中止になり、子どもたちが待っているとよく聞きます。大切なお仕事、ますますのご活躍を願っております。
委員	図書委員による、図書だよりの発行や読書感想文の指導に図書館を活用したり、国語の授業でポップ作りに挑戦しました。
委員	リサイクル展について 整理券の現地配布と電話予約も可能にしてはどうか。
事務局	リサイクル展については、新型コロナウイルス対策として、今年度初めて整理券配布による開催を行いました。整理券配布に多くの方が並ばれている状況を考えますと、電話受付も一つの方法ですが、先着順の場合は、電話が集中するおそれがあります。電話受付で抽選制にする等の方法もありますが、開催方法については、引き続きの検討課題であると考えています。
委員	「としょかんをかざろう」で、題材として有名な絵本を選んで飾れると楽しいかも。
事務局	絵本のキャラクターを使用することは、著作権上使用料が発生する場合があります。そういったこともあり、絵本のキャラクターを使うことは避けていました。題材にできないか、いろいろな側面から検討いたします。
委員	コロナの中、いろいろな活動ご苦労様です。自宅での過ごし方の中でのヨミカツには展示の力が大きいと思います。図書館に行くきっかけ作りには、お子さんの興味を引くために作品や感想を展示すると見に行ったりしやすい。
事務局	いつも展示にご協力いただきありがとうございます。今後も読書につながる展示ができるよう、工夫を凝らしていきたいと思います。また、広報かとうやホームページ、図書館だより等を通じて、図書館利用を推進していきます。

委員	「ひとはこ図書館」は、おもしろい企画だとおもいました。ぬりえや図書館クイズ読書クイズも子どもたちに寄り添っています。おはなしビンゴもわくわくします。図書館の本には、「読者カード」の葉書がないので図書館が子ども達の質問意見をまとめて出版社あてに送ってもらうと、その答えがかえってきて子ども達は喜ぶかなと思います。逆に、出版社や作者も喜びます。
事務局	行事等の参考にさせていただきます。
委員	『図書館だより』利用者に役立つ情報満載です。図書館活動は各図書館で工夫され実践されていることに敬意を表します。（正に、アイデアで楽しさを伝える活動をされています。）住民の一人として、心から感謝しています。
委員	「おでかけ図書館」のとりくみも、対策をとりながら実施をお願いできたらと思っています。
事務局	「おでかけ図書館」は、開館時間前に行く、グループ分けをして人数を減らす等の対策を取りながら、今年度も実施しています。直前に緊急事態宣言が発出され延期となった例がありますが、子どもたちに図書館見学と貸出体験をしてもらうことは、図書館利用の第一歩と考えております。可能な限り受け入れさせていただきます。
事務局	今後も「おとどけ図書館」「クラス単位の団体貸出」「おでかけ図書館」などで学校と図書館が協力していければと思います。
委員	本と出会う機会がたくさんあるとよいと思いました。 例えば、読んだ本の関連本が紹介されている、派生する場がある。 ① ウェビングマップのように、次につながる本がつながっている掲示 〈次のシリーズ〉〈作家〉〈ジャンル〉など、いろいろな方向へ選べる ② テーマ別に〈〇〇の本〉というようにセット本をつくる 〈ファンタジーの本〉〈魔法の本〉〈同じ作家の本〉 〈〇歳くらい対象の本〉〈車の本〉など ③ 本に出てきたことがらを詳しく知る本をセットにする 〈本の中で紹介されていた絵画の本〉〈本の中で食べていた料理の本〉 ④ くじ引きのように当たった本を読んでみるコーナー ⑤ 成果物の交流は、伝える力があると思います。 ⑥ 本の帯のように、本の情報があると選ぶ人もいる。 ⑦ 本に出てきたことがらを再現するコーナーなどがあるのも楽しいです。 〈植物の何か…実物を飾る、鉢植えをつくる〉 〈工作の何か…〉
事務局	展示等どのような形で、何ができるか検討していきたいと考えています。子どもたちが図書館の本を使って、「知るよろこび」を体験することが、今後の図書館の利用につながっていくと思います。
事務局	これからの読書活動推進事業に参考になるご意見をありがとうございます。
4. その他について	
委員	市役所への手続きや国の方針からほとんどネット活用が善とされているが、様々な世界の流れや脳の発達など外的・内的に調べれば調べるほど、本という学習ツールの重要性はネット活用が小さく感じるほど大きい。 まずは、他の地区との差別化のため、地域の郷土関連の資料室を「神格化」するぐらい特別感を出したい。ネットを使おうが、どんな偉人と会議しようが郷土資料以上の地域の情報は得られないと考えています。地域の木材で書院造にしてみるとか、皇室の高御座みたいにする子どもにもそこにある本はすごいと認識されそう。

事務局	郷土資料については、教育振興基本計画及び資料収集基準に従い、引き続き積極的な収集と充実を進めていきたいと思っています。また、郷土資料をアピールするために、館内展示の機会を設けるなどの工夫を考えます。滝野図書館には、近くに滝野歴史民俗資料館や地域交流センター（埋蔵文化財調査事務所）があります。周辺施設を含めた郷土学習の場となるよう、また、そのために何ができるか、検討をしたいと思っています。
会長	直接、いろいろな方面からのご意見が聞けずに残念ですね。専門的な立場からこのコロナ禍を乗り切ってください。本大好きという人は大勢おられて、図書館に感謝されています。
委員	外国人の生活ステージが独身からファミリーに変わってきている。外国語の出産・育児・食育・教育に関する本を増やしたらどうでしょうか。
事務局	中央図書館では、以前にご意見をいただいた、日本語を勉強したい人のための本のコーナーを設置したいと考えています。資料については、今後の出版情報に注意しながら収集していきたいと思っています。
委員	中央図書館の工事休館中に予約資料の受取もできないのは不便。
事務局	工事中は、中央図書館内は天井を研（はつ）っていたりして、大変危険なため立ち入りはできません。予約の付いた資料はご用意し、他館に送ることはできます。予約資料の受け取りは、滝野図書館・東条図書館をご利用くださいますようお願いいたします。
委員	やはり図書館について知らない人が多いと感じています。借り方、返却方法、蔵書検索などをより多くの人に知ってもらいたいと思っています。学校等で知ってもらえたらと思っています。
事務局	「おでかけ図書館」として、市内の小学3年生に図書館内の見学と自分のカードで本を借りる体験をしてもらっています。引き続き広報かとう、図書館だより、ホームページなどでPRしていきます。
委員	住みたい・住み続けたい街加東市づくりに図書館は大切な役割を担っています。「生き甲斐」さがし、例えば高齢者が健康で自立することは社会貢献の一つと言えます。図書館に出かけ趣味の領域を広げたり、奥行きを深める、楽しむことを「生き甲斐」にすることも！！
委員	校舎引っ越しまでの間、学校図書館カードを作ってくださいありがとうございます。児童・生徒の読書の機会があり、うれしく思います。引き続きよろしく願いいたします。